平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	街路灯整備管理事業	担当課	交通防災課	
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち	計画期間	平成24年度～
	施策	防犯対策の推進	種別	任意の事務
	基本事業	まちの防犯機能の充実	市民協働	
予算科目コード	01-020705-04 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>夜間の犯罪増加に伴う、犯罪被害防止・犯行抑止及び都市化発展に伴う交通量の増加に対応すべく、交差点等の交通危険箇所対策として事業を開始した。</p>	<p>既存の防犯灯のLED化改修工事（約5,300基）をH29年度までに完了した。</p> <p>公園・遊歩道灯は、器具やボールの劣化が進んでいるものについて、LED化改修工事を実施し、また分電盤等の電気設備については、市内全域の調査を行い、計画的に改修工事を実施する。</p> <p>道路照明灯は、交通事故多発箇所等への新設及び劣化が進んでいるものについてLED化改修工事を実施する。</p> <p>新守谷駅・南守谷駅の駅前街路灯については、調査を行いLED化に向けた改修方法を検討していく。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>防犯灯及び街路灯（公園灯・遊歩道灯、道路照明灯、駅前街路灯）を整備し、維持・管理することで、夜間の犯罪発生防止と交通の安全確保を図る。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>防犯施設等を設置し、犯罪の抑止や安全性の向上を図る。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>防犯灯や街路灯（公園灯、遊歩道灯、道路照明灯）の維持管理に当たっては、電気代や修繕費等の維持管理経費を削減していく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・街路灯LED化改修工事（69基） 工期 H30年9月11日～12月14日 ・公園遊歩道灯LED化改修工事（12基） 工期 契約日の翌日～H30年3月1日 ・LED防犯灯新設工事 自治会等の要望により随時設置
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>LED化されていない既存の街路灯（公園灯、遊歩道灯、道路照明灯）について、設置年数が古く経年劣化の著しいものを優先に、計画的に改修工事を実施していく。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	<p>夜間の照度確保と維持管理費を削減するため、街路灯（公園灯、遊歩道灯、道路照明灯）のLED改修工事は必要である。</p>

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
防犯灯のLED化や老朽化した遊歩道灯用分電盤の改修工事を行い、維持管理費の削減に努めた。	防犯灯のLED化により球切れ交換等の修繕料を含む維持管理経費等が削減された。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
街路灯の修理件数（件）	823.00	559.00	200.00	180.00	100.00
街路灯のLED化率（％）	17.90	84.60	86.20	88.00	100.00
成果の動向（→その理由）					
☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	街路灯（防犯灯等）のLED化率が向上したことで、夜間の照明が確保され、犯罪抑止環境の整備につながった。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☒ 維持 ☐ 廃止・終了	犯罪の未然防止や交通安全の確保、維持管理経費の削減を図るため、遊歩道灯のLED化を進めていく必要がある。				

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	44,902	176,091	75,597	63,646	63,646
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	44,902	176,091	75,597	63,646	63,646
正職員人工数（時間数）		229.00	822.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		939	3,370	0	0	0
トータルコスト		45,841	179,461	75,597	63,646	63,646